

写真は、めでたく結婚式をあげたインドサイ夫妻ルプシン（右）とラーニ（多摩動物公園）
 (Photograph) "The Marriage of the Rhinoceroses"
 "Rupshin (right). Rani (left)" (Tama Zoo)

《サイの結婚式》

多摩動物公園のメス、オスのインドサイが長らく柵をへだててお見合いをしておりましたが、昭和 38 年 1 月 18 日、東京都建設局長、加藤清氏御夫妻の御媒酌によりめでたく結婚式を挙げました。

新郎ルプシン（お金持ちの意）は、昭和 33 年 11 月来口、インド・アッサム生れ、現地から多摩動物公園までの旅費その他、金 625 万円也。新婦ラーニ（女王の意）は、インド、ネール首相からの御寄贈になったものであります。

新郎新婦共に角があるせいか、サイたちは、お互に理解し合うまでには相当はげしく闘うそうでありまして、身にまとったよろいも、結婚式の晴着として役立つようです。

林 寿 郎

MARRIAGE OF THE RHINOCEROSSES

The male and female Indian rhinoceroses of Tama Zoo have long had to stare at each other through the bars of their compound, but on January 18th, 1963, by the good offices of Mr. & Mrs. Kato, they were joined in happy wedlock. The bridegroom, named "Rupshin", was born in Assam and came to Japan in November, 1958, He cost the Tama Zoo 6,250,000 Yen. The bride, a gift from Prime Minister Nehru, was named "Rani".

The bride and bridegroom fight vigorously before they learn to get along - perhaps we could say that their heavily armored skin doubles as a "wedding dress", to protect them from each other.

Juro Hayashi, Director

3506

私は暇のある時には望遠レンズをかついで野鳥の撮影に出かけます。とくに水鳥の好きな私

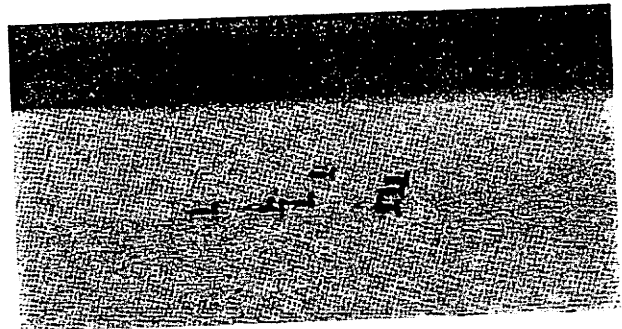
はシギやガンの写真もずいぶんとりました。ところが、どうもカモの写真は「これだ」という自慢の作品がとれません。内陸の池にいるコガモやマガモは、水上動物園や明治神宮の池でとれますが、あまりアップで

とると何だか飼っている鳥のように見えるし、まわりを入れると神宮の池だとすぐ判る松の木がはいったりしています。葦の間から飛び立つコガモとか海面すれすれを飛ぶクロガモの群などという野趣あふれる画面はピンボケやブレでどうもいけません。とくに主に海上で生活しているウミガモの仲間はなかなかうつつチャンスがありません。昨年冬には、千葉県行徳にある丸浜養魚場の池に珍らしくスズガモの群がいました。が、やはり失敗でした。この群は海上の重油で体がよごれていて、長距離の飛翔は無理なためか、渡去期を過ぎて残っていました。そうそう、たった一度海岸の堤防のすぐ下にいるカモを近くから写した事がありました。もう数年前

の1月、浦安の近くの堤防の波がうちつける海面にぼっかり浮ぶ1羽のカモを見つけました。

双眼鏡でよく見ても逆光のせいかわかりません。はってはそつとのぞき、またははっては近づき、何枚かシャッターを切りました。やっと順光線の方へまわって近くからのぞいても何の種類かわかりません。こりゃばかに警戒

動物サロン



カモにされた話
高野 伸二

The Trials of a Bird Photographer by Sinji Takano

性の少ないカモだ、しめたぞと思うのと、何だバカらしいと一人で思わず吹き出すのとほとんど同時でした。いかにもこちらを横目で見ながら泳いでいるように見えたこのカモは、実はハンターがカモをおびき寄せるのに使うセルロイドのニセモノだったのです。つないであった糸が切れて流れついたのでしょう。リュックサックに入れて、記念に持ち帰ったこのカモはまだ私の部屋の棚の上のっています。そして彼のポートレートのネガも私の机の引き出しの奥のネガカバーの中でねむっているはずです。

(日本野鳥の会委員)

写真はスズガモの群とオーバン。千葉県丸浜養魚場で写す。
(A flock of coots and scaup ducks)

表紙説明
(Cover)

不忍の池のカモ
Wild Ducks
in Shinobazu Pond

今年も不忍の池がにぎやかになりました。



池に浮かしてある餌台にむらがるオシドリ・コガモ・オナガガモ・カルガモ・ハシビロガモ・ヒドリガモ等が集り、互に押し合い、ラッシュ時の国電以上の混雑ぶりです。何かの物音に驚いて飛び立つ様は、花火がパッと開いた感じです。

もくじ 2月号 1963 (No. 157)

表紙 水鳥の楽園しのばずの池

動物サロン カモにされた話	高野 伸二	2
サイの結婚式	林 寿郎	3
ぐらふ		4
世界のガン (その2)	黒田 長久	6
オシドリの形態と習性	平田よしゆき	10
動物園ハイライト		
不忍池に渡ってくる水鳥	渋谷 光信	12
ア・ラ・カルト		14
海外だより		15
アイデア懸賞論文の発表		16
会員だより・愛好会だより・映画・本		17
動物園ニュース		18
よい子のどうぶつえん		
カモさんはどこ?	小森 厚	20